



かでな

# 議会だより

平成24年11月発行

第142号

題字：我 謝 彩 香  
(嘉手納中学校3年生)



嘉手納小学校運動会 10月21日(日)



町指定天然記念物：字嘉手納拝所のガジュマル

昭和13年頃、この一帯に神が住むといわれるようになり、このガジュマルは土着信仰の対象物となった。教育委員会は、ガジュマルそのものを本町に残る数少ない大木として文化財に指定し保護している。

推定樹齢240年、樹高18メートル、胸高周囲8メートル

シリーズ  
15

## 平成24年9月定例会～主な内容～

- 平成23年度 決算認定 P-2
- 陳情・意見書 P-4
- 町政を問う 11名の議員が一般質問 P-6
- 議会見てある記、題字紹介 P-18

[嘉手納町議会ホームページ](#)

嘉手納町議会

検索



# 3千万円を認定



## 9月定例会

平成24年第51回（9月）定例会を9月11日から27日の日程で開催しました。

本定例会では、平成23年度決算認定（一般会計、水道事業会計、3特別会計）及び平成24年度補正予算3件含む議案8件、報告2件、陳情3件、意見書5件、決議4件が提案され、それぞれ全会一致で可決しました。

万円

**予防接種費用助成 2,750万円**

(子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、おたふくのワクチン)



**学校給食費助成 8,644万円**

### 主な成果

1億7,126万円  
1億3,100万円  
1,001万円

- 住宅用火災警報器設置助成事業 1,009万円
- 野國總管公園ゲートボール場改修工事 594万円
- 町道73号線高所樹木剪定 560万円

# 平成23年度 一般会計決算 74億

## 平成23年度 岁入歳出決算

会計名	歳入	歳出
一般会計	78億9,805万円	74億3,166万円
特別会計	国民健康保険	25億8,625万円
	後期高齢者医療	2億717万円
下水道事業会計	3億5,837万円	2億579万円
水道事業会計	4億4,352万円	3億2,046万円
		4億5,083万円

**Q&A**

**決算審議でこんな質問がありました**

**問** 固定資産税などの滞納者のうち  
悪質なものに対しては、差し押  
さえなど法的手続きを取るべきでは  
ありますか?

**答** 町税全般の滞納者に対する徴収  
取り組みとして、23年度は預金  
を4件差し押さえた。

**問** 町住宅防音空調施設維持管理費  
補助金の支給額は、  
支給額はクーラーの室外機の台  
数で異なる。

**答** 生活保護世帯は1台当たり年額2  
万円以内、2台で2万5千円以内、3  
台以上は3万円以内。また、生活困窮  
世帯に対しては1台当たり1万5千  
円以内、2台で2万円以内、3台以上  
は2万5千円以内を支給。  
毎年、室外機が故障していないか、  
実際に使えるかどうかを現地調査し  
て実際によくある問題を質問してい  
ます。

**問** 読谷漁業組合に預託した経営改  
善資金の返納金。

**答** 000万円ほ、ここ10年来金額に  
変化がなかつたが、今回44万4千円  
減になつていて。その説明を求める。

**問** 地域福祉基金と人材育成基金の  
運用状況は。

**答** 0・2%で、人材育成基金は  
地域福祉基金1億8500万円  
を0・2%で、人材育成基金は  
0・7%の利率で国債運用している。

**問** 地域福祉基金と人材育成基金の  
運用状況は。

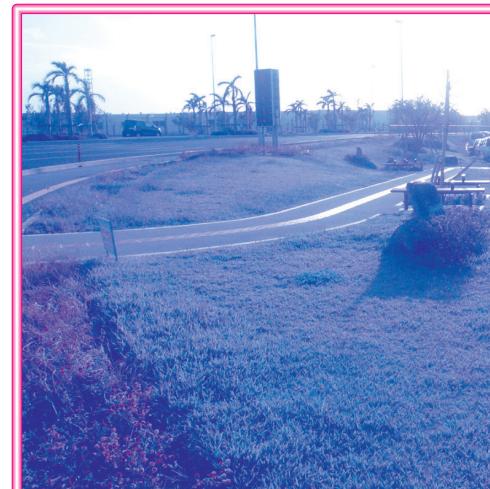
**答** 0・2%で、人材育成基金は  
地域福祉基金1億8500万円  
を0・2%で、人材育成基金は  
0・7%の利率で国債運用している。

**問** 財政調整基金に約5億8500  
万円を積み立てた理由は。

**答** 将来の財政的負担に備えて余剰  
金から積み立てた。

**問** カでな振興株式会社の増益によ  
る配当金は出たか。

**答** 近年は行われていたが、23年度  
はなかつた。



ロードパーク整備 2,045  
(国道58号沿い)



- 多目的広場整備工事
- ウォーターガーデン外構整備工事
- 町立図書館 図書購入

# 条例・宣言

## 陳情 決議・意見書

### 町応急小口資金貸付 条例の一部を改正 する条例

主な改正内容は、保証人要件の緩和。今まで町内に住所を有している者に限定していたものを沖縄県内に住所を有している3等身内の親族とし、活用しやすい貸付制度となる。

### 民間戦争被害者を救済する「新たな援護法」の制定を求める意見書

沖縄・民間戦争被害者の会から陳情があり、全会一致で採択し意見書を可決した。

アジア太平洋戦争で沖縄は、国内で唯一、日米の地上戦が行われ15万人の民間人が命を落としたにもかかわらず未だ戦後補償がなされていない。

NPO沖縄語普及協議会より「しまくとうば」の普及促進に関する宣言決議要請があり、全会一致で可決した。

私たちの暮らす沖縄は、日本本土とは異なる言語圏を形成しており、ユネスコの世界文化遺産に指定された組踊りや琉球舞踊や古典音楽・島唄など内外に誇る独自の郷土文化であり、次世代へ継承していく責務を考え決議した。

### 「義務教育費国庫負担制度」の堅持・拡充に関する陳情

本町議会は、国の責任において民間戦争被害者に対する援護措置を決定し援護金を支給する「新たな援護法」の制定を要請した。

県教職員組合中頭支部より、義務教育費国庫負担制度を引き続き堅持し、早急に従来の2分の1に復元するよう政府へ強く求める陳情があり、全会一致で採択し意見書を可決した。

### 「30名以下学級」早期完全実現に関する陳情

県教職員組合中頭支部より経済格差などによる就学援助児童生徒の増加、保護者等の多様な教育ニーズ、子供たちの学力格差の拡大など教育現場では困難な状況が表れており、学校現場では個々に応じたための細かい指導や、ゆとりをもつた授業が強く求められていることから「教職員定数法」の改善と早期の30人以下学級の実現の陳情があり、全会一致で採択し意見書を可決した。

完全実現の陳情があり、全会一致で採択し意見書を可決した。

## 訓練、爆音 激化に怒り 撒回せよ

平成24年9月27日、嘉手納町9月定例会最終日で「米軍

9月定例会最終日の9月27

戦闘機による訓練・爆音激化に対する抗議決議・意見書」を全会一致で可決し、嘉手納基地・沖縄防衛局など関係当

日町議会は、「在沖米国総領事の暴言撤回と謝罪・辞任を求める抗議決議」を全会一致で可決し、在沖米国総領事などを関係機関に送付した。

局に抗議・要請を行った。同決議・意見書では、F22 Aステルス戦闘機・F/A18 戦闘機など外飛行機が頻繁に飛来・訓練を行い、激しい爆音に包まれ、町民は戦闘機の墜落の危険性、不安、恐怖心を抱き、町民の強い怒りと憤りをかかっていると指摘している。

新任のマグロビー総領事は、新任会見で「普天間は特に危険とは思わない。オスプレイは安全といえる。」と暴言し、県民の激しい怒りをかつてている。

## 総領事暴言、 撤回せよ



▲ 嘉手納基地に抗議(10月2日)

## 海兵隊員の強制 わいせつに抗議

町議会は9月定例会最終日の9月27日、「米海兵隊員による強制わいせつ致傷事件に関する抗議決議・意見書」を

全会一致で可決し、沖縄防衛局に直接要請し、海兵隊など関係機関に送付した。抗議・意見書では被害者への謝罪と完全補償、加害者への厳罰、日米地位協定の抜本見直しを求めている。

# 平成24年度 一般会計補正予算 4億1千8百万円可決

## 9月補正の結果

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	4億1,840万円(増)	73億4,628万円
国民健康保険特別会計	2,730万円(増)	22億2,327万円
後期高齢者医療特別会計	107万円(増)	2億1,573万円



屋良町営住宅建設工事 13億1,859万円



(20周年に発行された記念誌)

平成24年度補正予算は、主な内容として屋良町営住宅建設工事、町営水釜高層住宅屋上防水塗装工事、町PTA連合会創立30周年事業補助金、久得橋右折帯設置検討業務、庁舎空調設備改修工事設計委託料、障害児通所支援等給付費、町道屋良西原線整備工事の補正が計上され、それぞれ原案のとおり可決しました。

町PTA連合会創立  
30周年事業補助金  
100万円



町営水釜高層住宅屋上防水塗装工事 892万円



久得橋右折帯設置検討業務 49万円

# 町政を問う

題字：仲村渠 兼栄 議員

<b>當 山 均</b>	..... P 7
■生活困窮世帯の住宅改修支援制度を	
<b>山 田 政 市</b>	..... P 8
■地震・津波等の災害専用公報システムの調査研究と運用の確立を	
<b>田 仲 康 榮</b>	..... P 9
■住宅リフォーム助成の継続を	
<b>徳 里 直 樹</b>	..... P10
■2学期制の検証は	
<b>仲村渠 兼 栄</b>	..... P11
■海浜公園に人口ビーチ建設を	
<b>照 屋 唯和男</b>	..... P12
■防災無線戸別受信機の設置を	
<b>新 垣 貴 人</b>	..... P13
■早急に道路側溝の整備をはかれ	
<b>奥 間 常 明</b>	..... P14
■町内主要箇所への防犯カメラの設置を	
<b>石 嶺 邦 雄</b>	..... P15
■公共駐車場（旧日本ペイント跡含む）の運営は	
<b>奥 間 政 秀</b>	..... P16
■基地内立入りの現状は	
<b>知 念 隆</b>	..... P17
■シルバー人材センター設立について調査研究の経過説明を	

(質問順)

11人の議員が  
一般質問



當山 均

他市町村でどのような事業が実施されているのか確認しながら調査研究してみたい。

問 ボランティアで取り組む限度を超えていた

ボランティアで取り組む規模、範囲など限度を超えていたので、財政支援を含む制度をつくり頂きたい。

## 生活困窮世帯の住宅改修支援制度を

問1

答 福祉課長

今年度、建設部が実施している住宅リフォーム支援事業の福祉政策版として、生活困窮世帯を対象とした住宅改修及び補修に対する財政的にも支援を行う住宅改修支援事業の制定を提案する。



東区ボランティアによる住宅改修

地域包括支援センターも東区に住宅改修支援を依頼していることからも福祉現場も支援制度を求めているのではないか。議していきたい。

答 副町長

町全体で協議していきたい

制度となるとクリアすべき課題も多々あるので、町全体で協議していきたい。

## 大変難しい課題が多く、慎重に考えていいきたい

財政的な問題や福祉事業全体における優先順位、そして高齢者、障がい者を含め生活困窮世帯をどのように判断するのか。また住宅改修支援をどの範囲までとするのか、改修が必要な住宅の判断や状況把握をどのように行うのかなど大変難しい課題が多く、慎重に考えなければならない。

問2

## 東区区民の利便性向上に向け、生活道路の整備を

答 福祉課長

多くの東区区民の利便性向上及び避難場所に指定されたパンダ公園へ通ずる道路の整備、住環境整備の観点からパンダ公園の裏側に位置し、途切れ袋小路になっている私道をまずは早急に接続させ生活道路としての整備を提案する。

答 都市建設課長

暫定的でも、どのような対応ができるか調査検討していきたい

抜本的な道路整備は土地利用計画と関連づけて実施していくが、現段階での生活の利便性や避難道路のアクセス、誘導道路の確保に暫定的でもどのような対応ができるか、これから調査検討していきたい。

問 積極的に区民のニーズを把握して頂きたい

東区自治会長から区民ニーズの高さなどを聞き取るなど、行政としても積極的にそのニーズを把握して頂きたい

答 都市建設課長

暫定的でも、どのような対応ができるか調査検討していきたい

生活道路は権利関係が発生するので、慎重に対応している。その地域の方々と自治会長を代表とし行政に要望して頂ければ、現場を検証し、利害関係もトラブルも発生しないというのが確認できれば、対応しても良いと考えている。

## 一括交付金活用基本方針を策定せよ

答 都市建設課長

一括交付金の活用については、町の振興及び特殊事情の改善に資する事業などの趣旨に沿って、町第4次総合計画及び町土地利用基本計画などの上位計画と照らし合わせ、残り9年間の長期方針を策定せよ。

答 企画財政課長

一括交付金の長期計画は必

要があると感じている。

現在、一括交付金としてどの事業を行るべきか、どのような事業が可能か検討中であり、事業の必要度、優先度を考

慮して長期の計画づくりを行つていただきたい。

問4

## 緊急災害情報伝達手段の多様化を

本町の学校、幼稚園・保育所、住宅などの多くは防音工事が施工され、窓を閉め切っている状態が多く、防災行政無線が聞きづらいという特殊事情による課題がある。

町内に所在する全ての方々に迅速かつ確実に情報を伝達するシステムを構築することが求められている。

釜石市では防災行政無線で放送された情報を電話応答サービスやメール配信サービスで確認することができるサービスを実施している。本町でも実施することを提案する。

答 総務課長

提案のサービスを含め、情報伝達の多様化に向け検討していきたい





田仲 康榮

補助金の支給はできないので当分は工事を保留するかと思う。今年度は追加の補正は考えてない。手続き簡素化については要綱上、簡素化できる部分があれば対応したい。

**4** 申込件数110件の工事総額は約8,000万円。助成対象57件の工事総額は約3,900万円。町内業者の波及効果は業者24件、一業者あたり平均約160万円の経済効果がある。

**問** 住宅リフォーム助成は業者の仕事確保、町民の住環境整備の重要な施策であり、好評である。7月末に申請が終了した段階で申請状況等について伺いたい。

**1** 申請件数と助成対象件数は、抽選でもれた方は追加補正で対応できないか。

**2** 提出書類手続きの簡素化は。

**3** 助成対象件数の工事総額はいくらか。町内業者への波及効果はどうか。

**答** 都市建設課長

**1** 申込件数は110件あり、補助金の補助対象件数は応募多数で抽選の結果、予算範囲内で57件である。

**2** 抽選で選ばれなかつた方は

**問** 地域の標高に海岸線からの距離を

**1** 防災の目標は、一人でも多くの生命を守り、被害を最小限にとどめ、危機意識を徹底し衆知させ灾害ゼロに接近できる計画を策定することである。

**2** 避難場所、標高、海岸から

**3** 防災マップに避難通路の表示。標高に海岸線からの距離表示を設置。

**4** 町行政の最大の課題は基地問題解決にある。町域を拡大し、環境改善、産業振興、都市計画に生かすことが町発展のキーポイントになる。

**5** がん患者の把握、病状の情報入手は大変難しい。財政負担軽減については高額医療費制度の案内、医療機関への取り次ぎを行い就労支援等については県条例の市町村責務に基づき支援強化に努めたい。

りやすいマップの作成を予定している。避難誘導に効果的な場所への標識等順次整備していく。議員提案の海岸線からの距離表示についてはマップ作成時に検討したい。防災ラジオを含めどのような情報伝達手法がいいのか隨時検討していきたい。

**1** 今回の大津市の教訓は、常に被害者の立場に立ち、いじめは人間として絶対許されないという認識で人権意識の育成を図らなければならない。日頃から児童生徒の実態把握に努め、聞き取り、慎重に努めたい。議員提案の臨床心理士の配置の件は青少年センター配置を取り組んでいる。

**2** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**3** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織体制の強化、専門委員会の配置はこれから課題。人員配置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**答** 教育指導課長

**1** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**2** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**3** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**4** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**5** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**6** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**7** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**8** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**9** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**10** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**11** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**12** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**13** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**14** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**15** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**16** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**17** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**18** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**19** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**20** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**21** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**22** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**23** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**24** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**25** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**26** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**27** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**28** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**29** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**30** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**31** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**32** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**33** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**34** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**35** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**36** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**37** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**38** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**39** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**40** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**41** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**42** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**43** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**44** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**45** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**46** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**47** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**48** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**49** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**50** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**51** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**52** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**53** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**54** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**55** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**56** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**57** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**58** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**59** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**60** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**61** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**62** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**63** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**64** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**65** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**66** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をとるべきである。

**67** 基地返還のメドがない現時点では返還プログラムの組織

体制の強化、専門委員会の配

置はこれからの課題。人員配

置の増員は職員定数の抑制のなかで難しいと考えている。

**68** いじめ対応の体制、学校力も学校や地域でいじめ根絶の対策をと

**問** 本町の小・中学校は教育課程特例校制度を導入し、英語教育に力を注いでいる。学習指導要領によらない特別の

## 新教育課程特例校制度 実施要項に基づく報告は

伝わってない部分がある。反省する部分であり今後、周知する機会に触れていきたい。

2学期制の検証は、学校及び教育委員会は現段階では行つております。

今後、新たなる検討をする組織等において取り組む必要があると考える。

**問** 町域の水釜地番の一部の地域において公図と現況（町道を含む）が一致しない地域があり、町民財産への不利益と今後、さまざまな問題が提起されることから、平成22年

関与していくかないと解決は困難であると判断し、法務局と協議調整を進め、担当者があらゆる資料を収集・整理し、調査研究と粘り強く法務局との協議を重ねてきた。

その結果、法務局の理解が得られ、今回の案件については県内では余り事例がない集団和解的方式手法で解決の糸口を見出

関与していかないと解決は困難であると判断し、法務局と協議

現況を確認し、それに基づいてその評価課税をしていく。

答 小学校は平成23年度、中学校は平成24年度、全面実施された新学習指導要領に基づく各学校の新教育課程計画について学校、家庭、地域への周知説明について各学校的具体的な取り組みと教育委員会の支援について伺う。

問 2 学期制を実施するなか、学校は生徒、保護者の意識調査を行い、諸教育活動のまとめや課題を分析するなどの自己評価を行い、その結果を保護者、地域に情報提供し、次年度の教育課程編成に生かされるようになるとされている。

**問5** 出向いて対応。  
**2** 教育カウンセラーが学校へ  
で実現してない。平成25年度  
に向けては常勤採用で現在検討

これまで個人用地の境界のずれなどは個人財産の問題であるため、当事者同士による解決が妥当であり、町が介入することは適切でないと答弁してきたが、今回この調査の結果から行政が

**答**　公平・公正の立場から、税金の課税について税務課の所見を伺う。

## 新学習指導要領の 問1

德里直樹

**答 教育長** 検証のために児童生徒、保護者用のアンケートを作成中。

の構築が必要とされており、専門家の臨床心理士の配置が求められている。

平成22年度に指摘のあつた地域を地図や公簿類の調査、不

いたら、そのブロックは集団和解が不調になり、地籍境界未確

A medium shot of a man with dark hair, wearing a blue button-down shirt. He is looking towards the right of the frame. In the background, a woman with glasses and a striped shirt is seated in an audience seat. The setting appears to be a lecture hall or conference room.

問4  
臨床心理士の配置は

教育課程を編成して教育を実施していることから実施状況については保護者や地域、その他関係者へ報告が義務化されている教育課程特例校制度実施要項、  
「支地代行」二つに二

問本町の見狀二課頭小治郎

6月定例会に一般質問した「町民の財産保護について」に対す  
る当局の答弁からこれまでの取り組みを伺う。

すことができました。



仲村渠 兼 栄

本町には、米軍施設の兼久マリーナ以外には、遊泳する場所がありません。また、沖縄の風物詩であるビーチパーティーを行う場所もありません。

今回の一括交付金を活用して人口ビーチを兼久海浜公園とホームセンタータバタの海域に建設することで、本町の観光産業活性化と雇用対策が図れ、民間がホテル誘致を検討する方向性も期待できることから町の活性化につながると確信している。

一括交付金の提案は、役場職員だけで行うのではなく、広く町民や議会にも情報提供の場を設けてほしいとの思いからこの質問を行いました。

**問 1 人口ビーチ建設を**

海浜公園に

本町には、米軍施設の兼久マリーナ以外には、遊泳する場所がありません。また、沖縄の風物詩であるビーチパーティーを行う場所もありません。

今回の一括交付金を活用して人口ビーチを兼久海浜公園とホームセンタータバタの海

域に建設することで、本町の観光産業活性化と雇用対策が図れ、民間がホテル誘致を検討する方向性も期待できることから町の活性化につながると確信している。

一括交付金の提案は、役場職員だけで行うのではなく、広く町民や議会にも情報提供の場を設けてほしいとの思いからこの質問を行いました。

**答 都市建設課長**

貴重な意見として賜り、今後の計画に参考にしていき、一括交付金の活用も前向きに検討していくたいと思う。

**問 メリット・デメリットは言及できる状況ではない**

**問 2 農林健児の塔」通路に手すり設置を図れ**

本町は農林同窓会から多額な寄付金を頂き、町は発展している。公園内の通路はきれいに舗装されているが、手すりがないといわれている。

**答 都市建設課長**

設置に向けて検討したい。

**問 3 「招魂の塔」改善を図れ**

昨年から塔周辺の老朽化が激しく、早急な修理か建て替えが検討されると思われる。

**答 都市建設課長**

貴重な意見として賜り、今後の計画に参考にしていき、一括交付金の活用も前向きに検討していくたいと思う。

**問 4 少子化対策を図れ**

他の字にも呼びかけを検討したい

**問 5 復帰 40 周年の記念式典の見解は**

今年は、祖国復帰 40 周年の記念の年である。私の尊敬する元沖縄開発庁長官 上原康助氏が県主催の式典にて、来賓として祝辞を述べた。「式典にふさわしくないものになるかもしれない」と一言添えて始まった挨拶は、制限時間を超えても、さわしくないものになるかもしれません。近頃は、制限時間で終わらなければ、延長時間がかかることがある。この間は、外國人向けの居酒屋・レストランがオープンいたします。

**答 町長**

沖縄県民は誰一人批判する人はいなかつた。そこで、上原康助氏の挨拶に対する町長の見解は。

**問 6 交通安全対策を図れ**

この町道は、国道に進入する際に、左側の自動車修理工場の敷地いっぱいまであり、自転車・歩行者特にジョギング者に接触事故多発地点です。現在の道交法ではこのようなケースは何らかの規制がありますが、法律の規制前の建物のため地権者に協力をお願いするしか、改善の見込みがありません。近日には、外国人向けの居酒屋・レストランがオープンいたします。

**答 総務課長**

町民が、加害者・被害者に巻き込まれる前に、町で地権者と協議して安全対策を行つてほしいが、町の見解は。

**答 中部福祉保健所窓口にチラシをおいている**

在も苦難の歴史が続いている。その過重負担の軽減を日米両政府に訴えるものであつたと思う。

**答 不妊治療の所得制限緩和を図れ**

この質問を行いました。

**答 子ども家庭課長**

子ども家庭課長

**答 乳幼児指導の助産師の活用を図れ**

子ども家庭課長

**答 交通安全対策を図れ**

交通安全対策を図れ

**答 不妊治療の所得制限緩和を図れ**

不妊治療の所得制限緩和を図れ

**答 福祉課長**

福祉課長

**答 乳幼児指導の助産師の活用を図れ**

乳幼児指導の助産師の活用を図れ

**答 福祉課長**

福祉課長

</









石嶺邦雄

**問1** **公共駐車場（旧日本ペイント跡含む）の運営は**

**答 都市建設課長** 現在、町内の駐車場のうち、新町、旧ロータリー地区、兼久地区等で問題が生じていると聞いておりますが、どのような状況でしようか。今後の管理方法などを含めてお伺い致します。

**1** これらの駐車場で支障を来たしている所はどこで、どのようにトラブルか。

**2** 兼久の駐車場に関しては、放置車両等も出始めていると聞いているが、やはり機械で管理する方法が好ましくないか。

**3** 旧日本ペイント跡の町有地は、今後どのような利用形態になるのか。機械で管理して周辺住民へも開放してはどうか。

## 問2 芝生管理者を育成し プロキャンプの充実を

**問** 現在、我が町のグラウンドの4ヵ所で支障を来たしております。付近住民、近隣事業所関は指定管理者で、かでな振興

**3** 旧日本ペイント跡の町有地は、今後どのような利用形態になるのか。機械で管理して周辺住民へも開放してはどうか。

**1** ロータリー地区、新町地区の4ヵ所で支障を來たしております。付近住民、近隣事業所関は指定管理者で、かでな振興

**2** ロータリー地区、新町地区の4ヵ所で支障を來たしております。付近住民、近隣事業所関は指定管理者で、かでな振興

**3** 旧日本ペイント跡の駐車場につきましては、日立ネットワークシステムの要望を受けまして、使用していただいているままであります。機械式駐車場の整備につきましては、入居企業の状況を見ながら、また周辺の状況も調査し、検討してまいりたいと考えております。

**1** 施設内の芝生の管理について、かでな振興(株)の方で体育施設管理士養成講習会、除草剤に関する講習会を受講するなど、専門性を高めています。維持管理についても、芝生の専門業者からアドバイスを受け管理しております。町独自の予算を出してまで参加させる事は厳しいと考えております。

**2** キャンプ誘致については、

**1** 町内と町外のチェックは受付時に氏名・住所・電話番号等を記入していただき、判断しています。これまでどおり自己申

**3** プールに来る外国人への対応はどのようにしているか。対応マニュアルを作成しては。

**4** 月曜日が定休日だが、町内小学校の日曜行事の後の振替休日を開ける事は出来ないか。

**1** 町内と町外のチェックはどのように行っているか。

**2** 利用者のマナーが悪く、食べ物を持込んだり、トイレを利用せず、木陰に隠れて小便をする子など見受けられたが、その対応策は。

**3** プールに来る外国人への対応はどのようにしているか。対応マニュアルを作成しては。

**4** 月曜日が定休日だが、町内小学校の日曜行事の後の振替休日を開ける事は出来ないか。

**問1** **公共駐車場（旧日本ペイント跡含む）**

係者の車両が駐車している状態が続いており、近隣商業施設等の利用者が利用出来ず、監視員や巡回警備を行っていますが、抜本的な改善が図られておりません。また、深夜施錠後、施錠した鍵を破壊したり、タイヤで鎖を押しつけ突破したり、強引に駐車場から車両を出す状態が起きております。兼久地区においても同様な状況が起きておりま

す。  
**2** これまで巡回警備において注意指導の張り紙や口頭で注意を行つてきたが、その対応に苦慮している所であります。今後必要があると考えております。

**1** この予算を使って、芝生管理技術者を養成してはどうか。定員に漏れた場合は、町独自の予算をつけてその事業に帶同参加することは可能か。

**2** サッカーのJリーグは早ければ、平成27年からシーズンが秋春制に移行するらしいが、その場合、キヤンプが夏になると想定されますが、誘致は考えられるか。また、過去にキヤンブ利用の依頼はあつたか。

**問** ウォーターガーデンは町内の公園の中でも一番の集客があり、少なからずネーブルカデナ周辺への経済効果もあるかと思われます。そこでお伺い致します。

**1** 町内と町外のチェックはどのように行つてあるか。

**2** 利用者のマナーが悪く、食べ物を持込んだり、トイレを利用せず、木陰に隠れて小便をする子など見受けられたが、その対応策は。

**3** プールに来る外国人への対応はどのようにしているか。対応マニュアルを作成しては。

**4** 月曜日が定休日だが、町内小学校の日曜行事の後の振替休日を開ける事は出来ないか。

チームから打診があることが前提ではあります。もし要請があれば受け入れについて前向きに考えて行きたい。また、これまでJリーグからのキャンプ依頼はありません。

**2** 管理室の横に注意事項を掲げております。極力、施設内を巡回するよう指導し、保護者に対して子供の管理徹底、注意事項の周知及び遵守を図つていきたいと考えております。

**3** 英語の注意書きで確認するよう指導しておりますが、今後トラブルが懸念される場合には、マニュアル作成を含めて検討していきたいと思います。

**4** 条例で月曜日を定休日と定めておりますが、町内の利用者の声を確認しながら、前向きに検討していきたいなと思つております。

**問3** **ウォーターガーデンの利用は**



ウォーターガーデン

告で行つていきたいと考えております。



奥間政秀

**問1 基地内立入りの現状は**

町域の83%を米軍基地に占有されている本町にあって、米軍基地の存在は大きな障害となつていて。基地内の立ち入りについては現在も町民の拝所参拝等、どうしても入らなければならぬ古くから伝えられている行事がある。特に旧暦9月9日（クングアチクニチ）は豊年満作と無病息災を願つて多くの住民が毎年参拝におとづれています。しかし昨年米軍側の都合により立入り申請が認められませんでした。そこで基地内の立ち入りについて伺いたい。

**問2 地元、町民の拝所参拝等について現状は**

**答 基地涉外課長**

嘉手納マリーナは、野国総管の墓地参拝。平成23年度の参

拝立入りは1件、平成24年度は2件。嘉手納飛行場は、平成23年度、参拝入り2件、平成24年度は現在なし。嘉手納弾薬庫は、平成23年度7件申請中6件許可1件不許可。不許可の理由は、立入りを希望した日時が平日であるということ。弾薬庫についての立ち入りは土・日。今年度は申請なし。

**問2 嘉手納基地との友好、親善交流事業の現状と内容は**

**答 基地涉外課長**

平成23年度は3月17日、嘉手納ドームにおいて町内の日米児童120人が混合チームを編成してドッジボール、綱引き等のスポーツを通じ交流を図った。

商工会は2001年の9・11以前は、基地内へのバスツアーを実施していたが、テロ以降は実施なし。現在は司令官等の交代時の式典パレードへ商工会の役員が招待を受ける程度。社会福祉協議会の関係では、基地内の障がい者と基地周辺の市町村の障がい者との交流イベント嘉手納スペシャルオリンピックがある。町の社協が窓口となつて、各スポーツイベントに町の障がい者との交流イベント嘉

い者団体が参加している。

**問2 嘉手納弾薬庫で、平日との理由で立入りが許可されなかつたのですが、旧暦の大事な行事日程を変更することはできません。当局として米軍側と交渉していただけないか。**

**答 基地涉外課長**

安全上の理由（平日は弾薬作業をしている場所がある）から、土・日に実施して下さいとのことで。

**問2 海外移住者子弟研修の相互間交流の今後の取り組みは**

**答 町長**

基地内の立ち入りの件については、先日赴任された新しい司令官へ訪問の際に、黙認耕作地への農耕者の立ち入り許可・沖縄の特別な行事の日に限つての平日の立ち入りの許可を直接要請した。

**答 企画財政課長**

相互間交流については、ブルジル国の中町出身者からの研修生について提案を受けているが、期間・内容など研修費用に見合う成果が得られるかどうかなどの課題が多く、南米各国の町出身者の状況も把握できていない状況から相互間交流を行わない。継続して調査研究したい。

**問2 地元から基地内大学への進学、留学制度は**

**答 社会教育課長**

基地内大学への進学・留学については、こちらで把握している嘉手納外語塾生の範囲で報告します。

地元、町民の拝所参拝等について伺いたい。

**問2 海外交流事業等の今後の展開は**

**答 社会教育課長**

去る7月北谷町と合同で現地を訪れ、同時期に行われてい

た新聞社主催の海外ホームステイ事業を視察し、学校施設やホームステイ先を確認することができた。北谷・嘉手納の沖縄県人会を表敬し、派遣交流についての意見交換を行い両団体より協力を得ることができた。今後、早々に派遣要項を策定し、町民は周知を図つていただきたい。

**問2 海外移住者子弟研修の相互間交流の今後の取り組みは**

現在嘉手納基地内には、短期

**問2 地調査の成果と今後の予定は**

**答 社会教育課長**

嘉手納マリーナは、野国総管の墓地参拝。平成23年度の参





知念 隆

**問 1 シルバー人材センター設立について調査研究の経過説明を**

これまで議会において何回もシルバー人材センターの設立について提案を行ってきた。町当局から調査研究するとの答弁があつたが、その後、人材センター設立についてどのような調査研究をしてきたか説明を求める。

**答 産業環境課長**

高齢者の就業支援につきましては町就職支援活動総合窓口事業の就職相談等の委託業務を活用していきたい。町老人クラブ連合会長に人材センターの必要性及び設置について聞き取りをしたところ、積極的な意向でしたので老人クラブ会員全体の意向も確認する必要があり、役員会との協議を行いながら今後の展開を考えていきたい。

**問 2 介護サービス未利用者に商品券の交付を**

これまで議会において何回もシルバー人材センターの設立について提案を行ってきた。町当局から調査研究するとの答弁があつたが、その後、人材センター設立についてどのような調査研究をしてきたか説明を求める。

**答 産業環境課長**

提案が3月議会であります。私も賛成の立場から同じ提案をします。

**答 担当課の答弁では調査研究を**

本町の町営住宅は老朽化が進み整備や修繕の必要なところが多く見当たります。そこで町営住宅の整備について次の3点を伺います。

**1 町営住宅の整備・修繕にかかる年間予算はいくら確保しているか。**

この提案は本町が進めている

**2 水釜高層住宅の腐食したドアの取替えと廊下側の窓に戸を設置できないか。**

商品券事業のさらなる拡充にも寄与すると考えますが、現在の見解を伺う。

**3 水釜第2団地の建替え時期と建物の構想について町の考えは。**

現在のところ商品券交付の導入は考えていない

**答 福祉課長**

現在のところ商品券交付の導入は考えていない

**1 24年度の町営住宅の維持修繕費にかかる予算是**

2,011万円です。

**2 現在、入居者や管理公社から雨戸や格子設置の要望はありません。今後、入居者から意見を聞き、防犯上及び生活向上も確認する必要があります。役員会との協議を行いながら今後の展開を考えていきたい。**

**3 屋良団地の完成後、耐力度**

調査を実施し建て替えが必要と判断されれば、建て替え計画を実施していきたい。

**4 吊り橋の架設を**

**答 都市建設課長**

自然豊かな比謝川流域はわが町の財産であり、大いに活用すべきと考えます。そこでスポーツドーム北側に歩行者用のつり橋を架設してはどうか提案します。道の駅からも近く観光スポットになり、また、たびたび問題になる告別式時の交通渋滞の緩和も図れます。

**5 吊り橋の架設を**

**答 都市建設課長**

観光地の造成で地域振興に繋げる観点から一括交付金の活用也可能と考えるが当局の見解を伺う。

**6 吊り橋の架設を**

**答 都市建設課長**

現時点では費用対効果や維持管理、安全面に不安があり、つり橋の設置は予定しない

**7 吊り橋の架設を**

**答 都市建設課長**



現在の水釜高層住宅

シルバー人材センター立ち上げのためには町内の60歳以上の方の意思確認のためのアンケート調査や沖縄県商工労働部との協議、沖縄県シルバー人材センター連合への加入及び登録の必要があります。

**3 水釜第2団地の建替え時期と建物の構想について町の考えは。**

葬祭場までの歩行距離からして、利用率に懸念があり、公園内ジヨッギングや散策路、観光スポットとしての活用についても現時点では費用対効果や維持管理、安全面に不安があり、つり橋の設置は予定していない。

島袋純教授は先進的な自治体議会の取り組みを紹介し、議会は主権者たる町民の総意の捻出と総意の確定が役割であり、社会と権力(行政)の橋渡し、社会的な意思を実現させていく機能であること。さらには町民の代表である議員が議論を通して、相互の納得を引き出し、総意を練り上げていくことが求められないと強調した。



9月4日、琉球大学教育学部島袋純教授を招き、「自治体議会のこれまでとこれから」沖縄の自治体議会改革の可能性」をテーマに議会活性化研修会を開催した。

## 琉球大学 島袋教授を招き 自主研修を開催

# 東日本大震災の被災地視察研修 町民報告会

日時：平成24年11月15日(木)

開場 午後6時30分 開始 午後7時

場所：ロータリープラザ 2階

多数のご参加をお待ちしております。



嘉手納中学校3年生  
我謝 彩香さん

### 題字紹介

#### ひとこと

先輩や友達が書いていた題字の依頼が自分に来るとは思つてなくて、最初、依頼の話を聞いた時は驚くばかりでした。たくさん的人に見てもらう題字なので、緊張しましたが、とても良い経験になり、書いてよかったです。



津波古 光男 氏  
(民生委員)

## 議会見てある記

### みんなの議会へ

No.51

初めてのことでの、だいぶ緊張している様子でした。

議長の発声で開会され、町執行部(町三役初め部課長)と議員の攻防が始まり、緊張感と期待感が一層高まり、質問者と答弁者の一問一答に耳を傾けながら、議場の

今回9月11日に開会された町議会定例会を傍聴する機会に恵まれました。日頃、議会傍聴の機会が少ないので、一般質問日程、質問内容等について知人を通して知りました。

早速、東区の民生委員の4人と傍聴することにしました、皆さん

独得な雰囲気を感じた事が出来ました。議場に大型モニターを設置すれば質問者の表情もわかり、良い傍聴になると思います。

最後に、議員の皆様は、本町の発展と町民の安心安全のため頑張ってくださるよう期待致します。

あなたも参加してみませんか